

ハツラツ、私らしく

—あき子さんのその後—

CAST

ナレーター	<	根津久美子	大曽根母親クラブ	>
あき子	<	宮田幸子	谷田部母親クラブ	>
夫	<	袴田修由	つくば市国際文化課	>
はる子	<	伊藤由美子	大塚児童館母親クラブ	>
なつ子	<	川田麻美	谷田部母親クラブ	>
医師	<	谷川原奈都子	二の宮母親クラブ	>

2008・12・6(土)
つくば男女のつどい

茨城県地域活動連絡協議会

「ハツラツ、私らしく」

…あき子さんのその後…

ナレーター あき子さんは、リサ中学一年生・タクマ小学五年生・サクラ小学一年生の三人の子どものお母さんです。

「あき子さんのその後」というからには、その前がありました。それは…ちよっとした事件から、「主人や家族が、仲間との活動を通してイキイキと生活するあき子さんを理解してくれた」といってお話でした。そのあき子さんも、一番下のサクラちゃんがやっと小学校に入り、少し余裕が出てきたようです。

さて、今日は、あき子さんは母親クラブのことで、先輩お母さんにちよっと相談があるようですが…

あき子 はる子さんーなつ子さんーこんにちばー！

今度の母親クラブの研修会のことで、ちよっと「相談があるんですが、今週空いている日ありますか？」

なつ子 あー「めん、今週は私全部仕事だわ。はるさんは？確か明日は休みの予定だったよね？」

はる子 あー、それがね、明日も急に仕事になっちゃって、どうしても行かないといけないのよ。「めんね、あき子さん…」

あき子 あ…。そ、そうですかあ…。皆さんお忙しそうですね。大丈夫ですーなんとかやってみますから。

(なんか、みんなハツラツとしていて、輝いてて、かっこいいなあ。私も仕事、やってみたいなあ。子ども達が学校へ行っている間だけなら、私だって…！)

ナレーター おやおやっあき子さん、子育てしながら仕事をしている先輩お母さんたちの姿が、うらやましく見えるようですね。

近頃「こんな気持ちになることが時々あるようです。そしてあの口。」

はる子 ねえあき子さんーサクラちゃんも一年生になったことだし、少しお仕事してみない？

私のやっている仕事なんだけど、スタッフを募集しているの。私にもできるんだから、子育てしながらできる範囲で一緒に働きますせん？

暗転・スポット ナレーター

照明

あき子・はる子・なつ子 前

シーン 1

暗転・スポット あき子

暗転・スポット ナレーター

照明

はる子・あき子 前

シーン 2

あき子　えーできる範囲で……前からやりたかったんだけど……。子ども達のお稽古事も増えて、お金もかかるし。

ナレーター　というわけで、タイミングよくお誘いを受けて、軽い気持ちでお仕事を始めたあき子さん。

しかし、仕事が本格的になってくると、子ども達のことだけでなく仕事のことにも気になって、あきさんは、気持ちに余裕がなくなってきました。

そんなある日の朝のことでした……

あき子　おはよう。あらーサクラに、給食のお着持たせるの忘れてるー！

夫　何？おまえ仕事始めてから子どものことや家のことが手抜きなんじゃないの？

「この前も歯磨き粉買っとくの忘れたらうー大したお金にならないだし、やらなくてもいいんじゃないの？」

あき子　そんな「と言わないでよ。何も分かってくれないは……。

朝から気分が悪くなるよつな「と言わないでよ。

夫　何だよー忙しいからって、何イライラしてるんだよ。おれに当たるなよ。おれのコーヒーは？

あき子　(忙しくしているときに限って、いろいろ頼んでくるのね。いつもは自分でやっているの「……)

はいどつぞー私そろそろ出かけるね。

夫　もう行くのか？

あき子　この頃忙しくって、仕事も増えたから……。

夫　仕事してるからって、家のこともちゃんとしてくれよな。

あき子　朝から文句言わないでよー……！

私が仕事するのは、自分のお金がほしいわけじゃないの、みんなのためでもあるんだから。掃除、洗濯、買い物、御飯の支度……せーんぶ私がやるのが当たり前だと思ってるでしょ？

シーン :

暗転・スポット ナレーター

照明

あき子・夫 前

シーン 3

暗転・スポット あき子
照明

少しくらい手伝ってくれてもいいんじゃないの？

夫 仕事って言ったって、たかがパートなんだろ。家族に迷惑かけるなら辞めればいいんだよ。

あき子 そんな言い方しなくたってーああもうー時間がない、とにかく出かけるわね。

ナレーター 大変です。ご主人もあき子さんも、お互いに不満をつのらせてしまいました。

その日の夜、あき子さんは、仕事で遅くなり、かなり疲れているようです。でも、朝のことが気になって、ついがんばって、夕食の支度をしています。

あき子 あ、大変、タクマ迎えに行く時間！でも、野菜だけは切っちゃわないと…。

夫 ただいまあ。

あき子 ちょうどよかった、すぐタクマの塾の迎えに行ってもう時間なんだ。

夫 えっ、おれ帰ってきたばかりなのに、すぐ迎えに行くの？おまえの仕事だろう？

あき子 私だって帰ってすぐ、夕飯の支度してるわよ。今手が離せないの。

夫 仕事遅くなったのか。そんなに仕事大事なの？もっと早く帰ってこれるだろ。

あき子 じゃあ、あたしが迎えに行くからいいわよ…。

夫 「じゃあ」ってなんだよ。おまえの言い方は嫌味なんだよ。いいよ、行けばいいんだろ。

あき子 (わたしだって、今日はおいしい夕食、みんなで食べようと思って頑張ったのに…)

シーン 3

暗転・スポット ナレーター

照明

あき子・夫 前

シーン 4

暗転・スポット あき子

ナレーター 　また、ぎくしゃくしてしまいましたね。あき子さんなりに必死でがんばっていますが、なかなかうまくいかないようです。さて、次の日の夜…。

あき子 　ああ、今日も調子悪いなあ…。昨日も気持ち悪くて、食欲なくて、食べられなかったなあ。
あ、痛い、いたたたっー胃が痛い…

夫 　だ、大丈夫か、

あき子 　うっ、うーん　だ、だめかも、かなり　い、痛い。ふらふらする…。

夫 　薬のむら、病院行こうか！？　〈夫・あわてて〉

ナレーター 　さあ大変です。無理しすぎたのでしょうか？あきさんは、ご主人と一緒に、夜間診療の病院に行くことになりました。点滴を受けて、少し楽になってきたようです。

医者 　奥さんはいぶ無理していたようですね。過労だと思えますが、少し貧血もあるようです。
とりあえず入院して様子を見ましょう。検査を試してみたほうがいいと思いますよ。

夫 　ええっと、入院ですか？そんなに悪いんですかー？　〈夫・うろたえる〉

ナレーター 　あき子さんが入院ということになり、ご主人はびっくり。入院手続きを済ませると、
子ども達を預かってくれたいた　なつ子さんのお宅に迎えに行きました。

夫 　どうもすみません、助かりました。ありがとうございました。

なつ子 　子ども達、夕食はみんな食べたから大丈夫よ。それより、あき子さんはどうなの？

夫 　それが、とりあえず検査入院になってしまって…。

暗転・スポット ナレーター

照明

あき子・夫 前

シーン 5

音・ピーポーピーポー

暗転・スポット ナレーター

照明

夫・医者 前

シーン6

暗転・スポット ナレーター

照明

夫・なつ子 前

シーン 7

なつ子

えーう大変。子ども達のことなら、遠慮なく私やはる子さんに何でも言ってみてね！
ご主人も大変でしょうけど、がんばらなくちゃね！

ナレーター

さて、家に戻って、ご主人は子ども達のお風呂。明日の学校の準備で、てんやわんやでした。しかし、幸いなことに、次の日あき子さんは、無事退院することになったようです。

医者

良かったですね。ちょっと気になることがあったのですが、検査したら大丈夫でしたよ。しばらくは無理をしないで、ゆっくりさせてあげてくださいね。

夫

はい、わかりました。最近、仕事を始めたばかりで、だいぶ忙しかったようです。子ども達にもまだ手がかりますしね

医者

そうだったんですか。仕事と家事、慣れるまではたいへんですよ。
一人で無理してはね……。お子さんたちのためにも、協力し合わないと。

夫

でも、うちの場合、妻はパートで、大した仕事じゃないはずなんですよ。
僕がきちんと働いているんだから、うちのことができる程度で働いてくれればいいんですよ。

医者

私は、家庭を持っていないので、よくわかりませんが、意外と主婦の仕事っていうのは、大変なものらしいですよ。
私の同僚も、両立が難しく、仕事をやめてしまった人もいますよ。それに、いくらパートといっても、忙しい時期もあれば責任だつて出てきますしね。

うちの受付のパートさんや看護師さんも、いつもそんな話をしていますよ。
やれ子どもに箸箱を持たせなかったとか、歯磨き粉を買い忘れたとか……ね。

夫

（う………）
夫・やばそうに小さくなる

夫

そうですね。よく話し合ってみます。

ナレーター

ご主人も、気がついたようです。家庭の中で誰かが無理しては、居心地がよくありません。それに、家の中が

シーン 7

暗転・スポット ナレーター

照明

夫・医者 前

シーン 8

暗転・スポット 夫

照明

暗転・スポット ナレーター

あき子 ぎくしやくししますしね。さあ、あき子さん、家に戻ってきました。
ごめんなさい。頑張るつもりが、かえって迷惑かけたみたい。わたし、仕事やめた方がいいのかなあ…

夫 もう気にするなよ。おれも、おまえの仕事のこと、よく理解してなかったのかもしれないし。これから、できることは手伝うよ。子ども達にも手伝ってもらおう。みんな心配したよ。おまえには元気でいてもらわないと困るよ。

あき子 私、ちよつと無理していたのかも。リサやタクマにも怒ってばかり、サクラもきつとさびしかったね。
自分が忙しいと、知らず知らずのうちにみんなにあたりたりして…

夫 そうだな。おれも、もう少し気をつけるよ。塾の迎えやサッカーの送り迎えも、大変なときは言ってくれば、できるだけやるよ。

ナレーター あき子さんの体調を悪くしていたのは、「わたしがやらなければ」という思いだったのでしょうか？

家族。助け合って、思い合って、支え合っ。あき子さんは何より夫婦の信頼関係が大切だと気がつきました。
さあ、またあき子さんにいつもの朝がやってきました。

あき子 きゃー！またまた寝坊したー！タクちゃんおきてー！、リサちゃん顔洗って、サクラちゃんお箸持ったの？
タクっ、学校の用意はできてるの？

夫 おーい、忙しいからって子どもにあたるなよー！

あき子 あーもうー！。パパものんびりしていないで、自分のことは自分でね。

夫 今度はおれかよ。

ナレーター 日々の暮らしの中で、見えなくなった自分を見つけたかった。自分を見つけるには、家族の絆。そして、同じように自分を見つけてようとしている仲間が必要でした。

あくせく、あくせく、時計のように響く毎日。かけがえのない家族を発見するために、ちよつとだけ立ち止まって、舞台の会話に耳を傾けてみませんか？

シーン 9

照明

あき子・夫 前

暗転・スポット ナレーター

照明

あき子・夫 前

シーン 10

暗転・スポット ナレーター

照明・全員前・礼